

元旦におもてなし歓迎イベント



温かいお迎えに笑顔

1月1日、JR角館駅で元旦の新幹線利用客に向けた歓迎イベントが行われました。

駅のホームでは、角館マスコトキャラクターの「お梅ちゃん」「福松くん」がお迎えをしたほか、角館駅前蔵では観光案内をはじめ、地酒や漬け物などが振る舞われました。歓迎を受けた帰省客や観光客は、一緒に写真を撮ったり、お酒を味わったりして、笑顔を見せていました。



角館駅前蔵では地酒などの振る舞いで、来場者をおもてなし。

ちょっぴり大人のクリスマス



聖なる夜の演奏会

12月16日、田沢湖図書館で「聖夜のコンサート」が開催され、およそ50人が一足早いクリスマス気分を味わいました。コンサートは1914年のクリスマス休戦を題材とした絵本「世界で一番の贈りもの」の朗読を中心に進行。合間には世界のクリスマスソングが歌と楽器演奏で披露され、会場はちょっぴり大人の雰囲気。来場者は朗読と歌に聴き入っていました。



会場はしっとりとした大人の雰囲気に包まれました。

第30回角館キッズ学びい教室



難しい問題もすぐに解決

12月24日から3日間、「第30回角館キッズ学びい教室」が角館交流センターで行われ、市内外の小学生108人が参加。この教室は「楽しい学習オタスケマンの会（菅原正五郎会長）」が子どもたちの自学自習を支援しようとして、夏冬の長期休みに開催しているものです。現職や退職した先生、市民、角館高校生などが「オタスケマン」として、子どもたちに丁寧に教えていました。



オタスケマンのわかりやすい助言は、子どもたちに好評です。

県警職員がドローン操作を学ぶ



災害時のドローン活用を想定

12月22日、秋田県警の職員を対象とするドローン講習会が生保内四十程地区のラジコン飛行場で行われ、およそ10人が参加しました。災害時のドローン活用が期待される中、機体进行操作できる人材を育成する目的で行われたこの講習会。参加した職員は田沢湖RCフライングクラブの田村清一さん、羽崎剛さんの指導を受けながら、操縦感覚を養いました。



指導する田村さん（前列左）は「平日の開催だったが職場の理解を得て、無事開催できた。教えたことが現場で活かされる日が来るといい」と話しました。

中川小学校支援地域本部が「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰に、中川小学校支援地域本部が決定し、12月8日に文部科学省東館講堂で表彰式が行われました。式には齊藤聖士中川小学校長、コーディネーターの黒澤福子さん、黒沢春美さんが出席し、表彰状が伝達されました。学校支援地域本部事業は、地域住民や保護者等が参画する仕組み（本部）を作って学校の教育活動を支援するもので、学校からの支援や協力の



左から黒澤福子さん、齊藤聖士校長、黒沢春美さん。

依頼を受けたコーディネーターが地域ボランティアに依頼内容を伝達し、調整をはかり、教育活動の支援に結び付けるものです。中川小学校支援地域本部は平成22年度の設定以来、登下校時の安全指導、環境整備に加え、特徴的な活動として、田んぼの学習支援「ニコニコ米栽培・販売」、放課後学習支援「まなびー教室」、伝統芸能継承支援「三省タイム（民謡・手踊り）」等を継続的に実施していることが評価され、今回の表彰に繋がりました。



昨年実施されたニコニコ米の田植えの様子。

野外活動の推進と防災協力について

仙北市と株式会社モンベルが協定締結

12月22日、仙北市とアウトドア用品大手の株式会社モンベル（大阪市）が、野外活動の推進と防災協力に関する協定を締結しました。

この協定は、仙北市の自然を生かしたアウトドア活動の実施や災害に関するノウハウの共有などを目的としています。

田沢湖高原のアルパこまくさで行われた締結式には、株式会社モンベルの竹山史朗広報本部長、門脇光浩市長、立会人の青柳宗五郎市議会議長が出席。竹山広報本部長は「特色ある自然資源を持つ全国64か所を『フレンドエリア』として指定し、魅力発信に努めている。ぜひ仙北市も登録していただきたい」とあいさつしました。門脇市長は「野外活動や防災・災害対応のノウハウに期待している。早期にフレンドエリアに登録し、モンベルユーザーの誘客につなげたい」と話しました。

昨年夏、竹山広報本部長が仙北市を訪れた際、門脇市長が要請したこ

とがきっかけとなり、今回の協定締結に至りました。協定は平成29年3月31日まで。年度ごとに更新していく予定です。



協定書を交わし、がっちり握手する門脇光浩市長と竹山史朗広報本部長、立会人の青柳宗五郎市議会議長（右から順に）。

モーグル World Cup

2/18・19 Sat Sun

秋田 たざわ湖 大会

Supported by TDK

3回目のFISフリースタイルスキーワールドカップが来月たざわ湖スキー場で開催されます。今号では、モーグル競技のおさらいと大会会場をご紹介します。

モーグルのルール・採点

モーグルは、コブ斜面を滑り降り、**ターンの技術**（ターン点）、**エアの完成度**（エア点）、**速さ**（スピード点）の3つを合算した結果で勝負が決まります。どんなに速くても、あるいはエアの完成度、難易度が高くても、ターンに乱れがあると必ずしも高得点を得られる訳ではありません。3つの点数どれもが高得点でバランスが取れていることがポイントです。



シングル競技は7人の審判員（ジャッジ）制で、ターンが5人、エアが2人で採点され、スピードは計測タイムにより算出されます。

○ターン点	…	60点満点（全体の60%）
○エア点	…	20点満点（全体の20%）
○スピード点	…	20点満点（全体の20%）
合計100点満点		

一方、デュアルモーグルはターン4人、エア2人、スピード1人のジャッジが各5点の持ち点を2選手に振り分け勝負を決めます。

★会場マップ & おすすめポイント★

観客エリアで迫力の滑りを！

コース右側には無料の観客エリアがあり、ターンのスピード感やエアの躍動感を肌で感じることができます。また、ジャッジハウス前とフィニッシュエリア横にはコース全景を見ることができる有料観覧席を設置する予定です。（有料観覧席の申込方法は、大会公式ホームページをご覧ください）

ミニFMを聴きながら…

大会アンバサダーの上村愛子さんが会場内限定のミニFMで選手の滑りを解説します。総合案内テントで携帯ラジオを販売しますので、上村さんの解説を聴きながら自分のお気に入りの選手を応援してみたいいかがですか。

美味しいものがいっぱい！

観戦にきたらぜひ屋台コーナーへ。温かくて美味しいものがたくさん。皆さんの体を温めてくれます。

どちらもお見逃しなく！

全日本スキー連盟A級公認

2017 フリースタイルスキー 秋田・田沢湖モーグル競技会

2/4 ④ モーグル予選・決勝

2/5 ⑤ デュアルモーグル予選・決勝



お問合せ
 FISフリースタイルスキーワールドカップ
 秋田たざわ湖大会 組織委員会事務局
 (仙北市教育委員会 スポーツ振興課内)
 ☎ 0187-43-3390 URL <http://www.akitamogul.com/>

「デイスカバー農山漁村の宝」特別賞を受賞

仙北市農山村体験推進協議会が

農林水産物や景観などを生かした地域活性化の成功事例を農林水産省が内閣官房や首相官邸と連携して選定する「デイスカバー農山漁村(むら)の宝(第3回選定)」で、仙北市農山村体験推進協議会(門脇富士美会長)が、769地区の応募の中、特別賞を受賞しました。秋田県からは初めての受賞となります。

仙北市農山村体験推進協議会は、農家民宿などで構成されるグリーンツーリズム受入団体や市内観光協会、JAなどで組織されています。これまで、国内はもとより、海外からも積極的に誘客を図り、農山村地域への受け入れを行ってきたことが高く評価され、今回の受賞となりました。門脇会長は「受賞を励みに、今後もマイペースで心を込めた普段どおりの日常を国内外の皆さまに提供していきたい」と話しました。



12月14日、市役所田沢湖庁舎で門脇市長に受賞報告。左から、門脇市長、仙北市農山村体験推進協議会の門脇富士美会長、市農山村体験デザイン室の福田室長、坂本主事。

平成28年度 明るい選挙啓発ポスターコンクールで入賞

平成28年度の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、角館高校3年の畠山鈴夏さんが「公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞」を受賞しました。作品について畠山さんは「選挙から連想されるダルマをメインにデザインしました。『明るい選挙』の中に『明るいミライ』があることを表現しています。ダルマの表情を笑顔にして、全体的に暖色を使用することで、選挙のイメージも明るくなるように工夫しました」と話しました。



明るい未来を表現している畠山さんの受賞作品。

記念の手ぬぐいを作製「昭六会」で長寿祝う

このほど、生保内小学校の昭和6年生まれの同級生たちで結成する「昭六会」が開催され、参加者は思い出話に花を咲かせました。同会では「人の世は山坂多い旅の道」など、健康長寿の心得が書かれた記念品の手ぬぐいを作製して一人ひとりに配付。久しぶりに再会する懐かしい面々と旧交を温めていました。



気心した同級生は一生の宝物。楽しい時間を過ごしました。